

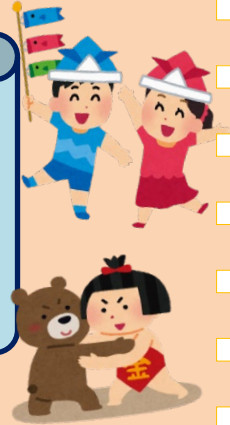
# 5月 栄養課だよ!



～5月の行事食「こどもの日」～



**おしながき**  
 米飯 煮込みハンバーグ&半熟目玉焼  
 付)スバケティ  
 サラダ コンソメスープ  
 かしわ餅風水ようかん



～5月の生活習慣病教室「高血圧症」～



筍と桜えびの炊き込みご飯  
 鯖の竜田揚げ～香味ソースがけ～  
 ジャガ芋のカレー風味炒め  
 海藻サラダ～ゆず風味～  
 キウイヨーグルトのゼリー



今月も10名程の患者様に参加頂きました。香りやスパイスをきかせたメニューで、減塩でも十分満足頂けた様子でした。次回は「脂質異常症」がテーマです。生活習慣病教室は外来の患者様でもご参加頂けますので、お気軽にお問合せください♪



## 【今月のえいよう☆トレンドニュース】



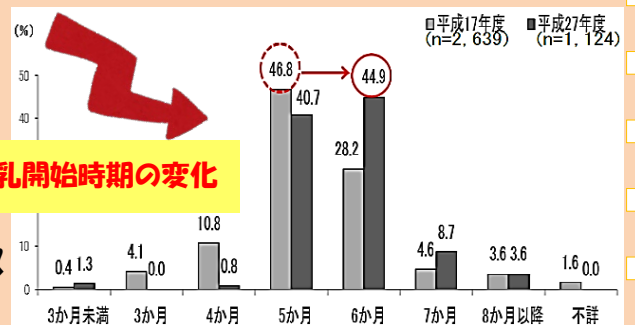
### 食物アレルギーと離乳食～摂取開始を遅らせるとアレルギーは予防できる?～

2007年に厚生労働省より作成された「授乳・離乳の支援ガイド」が12年ぶりに改訂されました。今回の改定では、食物アレルギーに関する最新の研究成果を反映し、授乳や離乳に関する内容が見直されました。近年、アレルギー疾患発症への懸念から、日本では離乳食の開始時期が以前よりも遅くなってきています。

これまで食物アレルギーは“未熟な腸”が感作の場と考えられてきました。しかし最近では、**食物の摂取時期を遅らせても発症予防には繋がらない**ことが分かっています。

今回アレルギー発症予防の観点から、卵の摂取開始時期についても一部変更となりました。

2007年版では離乳中期に当たる「生後7-8か月頃」と記載されていましたが、今回の改定では離乳初期に当たる「生後5-6か月頃」に試す食品の中に“卵黄”が追加されています。つまり、アレルギー発症を心配して、離乳の開始や特定の食物の開始時期を遅らせる必要はないということですね!



<日経メディカルオンライン、授乳・離乳の支援ガイドより抜粋>



## 今月の栄養課



5/30 大東・四條畷エリア CKD 連携講演会を当院にて開催しました！

一般講演：「あなたも明日から栄養指導がしたくなる！」

～CKD 患者の栄養管理マメ知識～

演者：社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 栄養科科长

川手由香 先生



特別講演：「CKD 教育入院と地域連携の意義」

～一人でも透析患者を減らすために、今すべきこと～

演者：医療法人八田内科医院院長 / 近江八幡市立総合医療センター腎臓センター顧問

八田告 先生

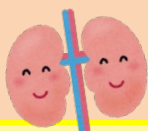


当日は、周辺地域の医師や看護師、管理栄養士等のたくさんの医療スタッフの方々に100名程お集まり頂き、当院の会議室には入りきれないほどの参加者数となりました！



最初にご講演頂いた川手先生からは、腎臓病患者様に対しての食事管理の方法や栄養指導のコツを分かりやすいスライドとともにご紹介頂きました。添加物として多くの食品に含まれる**「無機リン」**がこういった食品にどれくらい含まれるのか等、実践で使える情報が盛りだくさんの内容で、栄養士のみならず他職種の方々にも参考になったのではないかと思います。

特別講演では、CKD・透析治療で著名な八田先生をお招きし、2006年より近江八幡市立総合医療センターで行われているCKD教育入院についてご紹介頂きました。院内のみならず地域のクリニック等から紹介された患者を受け入れ、「何が腎不全を進行させているのか」をより詳細に突き止めることで、腎不全進行抑制に繋がっています。



近江市立医療センターのように地域連携をうまく遂行し、質の高い医療を提供していく上で、連携体制の構築や紹介を受け入れる側の医療機関も下準備が必要です。教育入院を患者にとって無駄なものにしない為にも、腎臓病専門医や腎臓病療養指導士、糖尿病療養指導士などその分野に精通している人材の確保、育成、教育が大切だと改めて感じました。